

◇ 『ニュースの読み解き方がビジネスを変える』

理事 木田洋一

竹原さんが、日本一明るい経済新聞のメールマガジン3月12日号に「一番の強敵は時間だ」というタイトルで、次のように書かれています。

「コロナがきっかけでビジネスのやり方、取り組みも変わってきました。この3年のコロナ禍で、会社を成長させたところもある一方、会社を廃業するところもあります。

ある社長さんはおっしゃっていました。『1番の強敵なライバル会社ではありません。時間ですな。ちょっと油断して、時の流れに乗り遅れてしまうと、負けてしまいます』と」

そして、ある広告会社の取材をした後に「そう、ライバルは同業他社ではなく、時です。時の流れに乗らないと、いくら良い技術やサービスがあってもうまく行きません」とも書かれています。

そうです、「時の流れ」がビジネス、経営にとって必要不可欠です。ではどうやって知る、読み解くのかです。まず世間の動きの情報が必要です。これにはニュース（新聞、テレビ）や情報番組（週刊誌など）を見ることです。常にこうした情報を見ていると、変化が感じられます。

もちろん、世の中の流れを知る方法はマスメディアだけではありませんが、やはりメディアは仕事ですから日々世間の反応を見てネタを選んでいることも確かです。だから、どうしてこのニュースを話題にしているのか、あるいは話題にしなくなったのか、を考えると色々気付くことがあります。

例えば、コロナの問題はあれだけ話題になっていましたが、今では、まだ感染者数が増えているにも関わらずニュースは減っています。これは、世間の関心が薄れたからだとわかります。またウクライナ問題なども、戦況が厳しい状況になっているにも関わらずニュースが減っています。こうした、世間の雰囲気の変化、時の流れが自分たちのビジネスにどう影響するのかを考えながら見ると色々な情報が見えてきます。もちろん、食にまつわるような生活に直結する番組ではもっとわかりやすいです。

以前、ある営業マンから「テレビのCMを見る時は、その内容ではなく、新しく出てきた企業名を見ます。そしてその企業に営業に行き、新規開拓をしていました」と聞いたことがあります。

つまり、世の中の動きを映すニュースやマスメディアからどんな情報を得るかは、見る側の目線、心がけ次第だということです。

◇ 『女子大生にろうそくを！』

代表理事 竹原信夫

◎コロナ禍で社会やビジネスが一変

コロナ禍になり、社会やビジネスが一変しました。マスク生活、黙食、検温、リモート会議と、これまで経験したことがない状況になってしまいました。

ボクの取材でも、当初は取材訪問することを拒否され、取材できないと紙面がつかれないと。実際、8面の紙面立てを4面にして発行したこともありました。



### ◎メリットがたくさん

ネットでのリモート取材を教えていただき、何とか乗り越えることができました。困ったら皆さんに助けをいただきます。

すると、リモートなら今まで無理だった愛知県や長野県の取材も簡単にできるようになりました。交通費もかかりません。逆にメリットがたくさん出てきました。

### ◎5年ぶり新商品を発売

こんな感じで、多くの会社ではコロナ禍のマイナスだけでなくプラスもたくさん出てきました。先日取材しました和ろうそくの会社さんでも、コロナ禍をきっかけに新しいことに果敢に挑戦されていました。

今秋にも5年ぶりに新商品を発売する計画です。女子大学と産学連携し、香りなど女性好みにした人に環境にやさしい「SDGs ろうそく」として販売されようとしておられました。

### ◎コロナ禍で需要激減

創業は明治10年の老舗企業です。お寺向けの手づくりの和ろうそく、オーダーメイドの絵ろうそくなどを製造販売されています。

長いお付き合いのあるお客様が大半で、安定した需要があり堅実な経営を進めておられます。ところが、コロナ禍になり、お寺向け、催事販売などがストップ、需要が激減してしまいました。

### ◎逆に考える時間ができた

「仕事が減り大変厳しい事態になりました。でも、逆に考える時間ができました。何か新しい事をしないといけないと思いました」と、4代目社長。前向きにコロナ禍を活かされました。

中小企業の社長さんは忙しいです。目の前の仕事対応に多くの時間を取られ、会社の経営についてゆっくり考える時間がなかなかありません。

### ◎若い女性に買ってもらう

こちらの社長さんも同じでした。先細り気味のろうそくビジネスを見直すチャンスとされ、新しいことに挑戦されたのです。シニア層のろうそくを若い女性に買ってもらう挑戦でした。

女子大学と産学連携し、女子大生のアイデアを取り入れた若い女性を買いたくなる新しいイメージのろうそくづくりに取り組まれています。燃え残った“残ろう”を回収再利用したカートリッジ、香りをつけたアロマタイプ。

### ◎女子大生にネーミングも

このほか、カタチや女性好みの付加価値を付けるなど、女子大生の発想による環境や人、社会にやさしい「SDGs ろうそく」を試作中です。女子大生に商品のネーミングも考えてもらい、今秋にも発売される予定です。